

# 第4次東かがわ市スポーツ推進計画

令和5年度～令和8年度

東かがわ市教育委員会

# 目 次

## 第1章 総 論

1	計画の趣旨	1
2	計画の性格	2
3	計画の期間	2
4	計画の構成	3

## 第2章 基本理念

1	スポーツ推進の基本的な考え方	4
2	施策の方向	
	(1) 生涯スポーツの推進	4
	(2) 障がい者スポーツの推進	5
	(3) ニュースポーツ、スポーツレクリエーション、野外活動の推進	5

## 第3章 実現に向けた取組

1	生涯スポーツの推進	6
	(1) 推進体制の整備充実	6
	(2) 指導者の育成支援の充実	8
	(3) 実践活動の促進	10
	(4) スポーツ団体・選手の育成	12
	(5) 施設の整備充実	14
2	障がい者スポーツの推進	16
3	ニュースポーツ、スポーツレクリエーション、野外活動の推進	18

## 【参考資料】

	スポーツに関するアンケート調査結果	20
--	-------------------	----

# 第 1 章

## 総論

### 1 計画の趣旨

現行の第3次東かがわ市スポーツ推進計画（以下「第3次計画」という。）は、令和元年度から令和4年度までの4年間を対象期間として本市のスポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため策定された。

国においては、令和4年3月に、第3期「スポーツ基本計画」が策定され、今後のスポーツの在り方を見据えて令和4年度から令和8年度までの5年間で、取り組むべき施策や目標等が示されている。特に重点的に取り組むべき施策として、「新たな3つの視点」である①スポーツを「つくる／はぐくむ」、②「あつまり、ともに、つながる」、③「誰もがアクセスできる」、という方向性が示されている。これらの視点は、今後スポーツに対する姿勢として、本市においても非常に重要な意義を持つものである。

第3次計画期間の大半は、世界的な規模で新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナウイルス」という。）の拡大が急速に進み、現在の東かがわ市スポーツ協会の主催する事業や東かがわ市スポーツ少年団の大会などのスポーツイベント等は開催自粛となり、令和2年4月には、我が国初の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令され、人々の日常生活は一変し、スポーツ活動など外出することすらはばかれるような厳しい環境下で生活を送らざるを得なくなった。

これら第3次計画の策定時には予期し得なかった事象に加え、日本の人口は平成20年をピークに減少局面に入り10年が経過し小学生児童、中学生生徒の減少が加速化するなど深刻な少子化が進行している。特に中学校の運動部活動は、生徒のスポーツに親しむ機会を確保する上で、大きな役割を担ってきたが、生徒数や教員数の減少、また、教員の働き方改革の進展により改善が求められており、運動部活動は地域のスポーツ団体等への移行を段階的に進めてい

く必要がある。

他方、新型コロナウイルスの環境下にあつて、様々なスポーツ活動が中止・延期等を余儀なくされ、スポーツに親しむ機会が失われていった一方で、東かがわ市社会体育施設等マネジメント基本計画に基づき、新温水プールの建設計画や耐震未了の引田体育館を取り壊すなど施設の廃止、また、他施設では維持管理に努めスポーツ環境の整備を行っている。

このような現状を踏まえ、毎日の生活の中でスポーツに親しむ時間や環境の確保、スポーツに参画する者やそれを支える担い手の不足の解消、学校部活動や地域におけるスポーツ環境の維持、また、スポーツを活用した健康増進を図るため、引き続き第3次計画を基に、「第4次東かがわ市スポーツ推進計画」を策定するものである。

## 2 計画の性格

---

本計画は長期的、総合的な観点から東かがわ市が目指すスポーツ推進の理念や方針を示したものである。

行政と地域全体が一丸となつて、誰もがスポーツに参加し、スポーツの楽しさを味わうことができるスポーツのまちを目指し、市民一人ひとりが健康で明るく生きがいをもって生き生きと暮らすことができるように、スポーツ施策を推進するものである。

## 3 計画の期間

---

本計画の期間は「東かがわ市教育の大綱」の定めにより4年を1サイクルとして見直しを行うことを基本とし、令和5年度から令和8年度までの4年間に総合的・具体的に取り組む施策を体系化した計画とする。

なお、当該期間中において社会情勢の変化や、国や市が関連する計画等との整合性を図る必要が生じた場合には、適宜見直しを行う。

## 4 計画の構成

---

本計画では、第4次東かがわ市スポーツ推進計画として、現状を把握しながら具体的な施策の実践活動を行うものとする。

なお、本計画の「スポーツ」とは、勝敗を競う競技スポーツだけでなく、楽しむことや体を動かすことを目的としたレクリエーション活動や散歩、ジョギングなど身体活動全てを含む、幅広い概念で捉え、誰もが心身の健全な発達、保持増進を図るためにされるものをいう。

## 第 2 章

### 基本理念

#### 1 スポーツ推進の基本的な考え方

---

- 生涯スポーツを推進する
- 障がい者スポーツを推進する
- ニュースポーツ、スポーツレクリエーション、野外活動を推進する

#### 2 施策の方向

---

本計画の実現に向けて、市民、地域、学校、こども園、スポーツ関連機関、関連団体、市が互いに連携・協力し合いながら、一体となって推進することが重要であり、それぞれが役割を認識し、連携・協働を図り、計画の実現に向けて積極的に取り組んでいく。

##### (1) 生涯スポーツの推進

少子高齢化が急激に進む中で、子どもから高齢者まで市民の誰もがそれぞれのライフステージに応じ、生きがいや健康づくりなどを目的に、いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも気軽にスポーツに親しむことができる環境を整備するため、スポーツ推進委員をはじめ、スポーツ協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブなど各種団体と連携・強化を図り、市民の自主的・自発的な活動の支援に努める。

地域運動部活動では、持続可能な活動に向け児童・生徒にとってふさわしいスポーツ環境づくりの実現に努める。

## **(2) 障がい者スポーツの推進**

障がいのある人がスポーツを通じて自らの可能性に挑戦したり、仲間との交流やコミュニケーションを深めたりすることによって、生活の質を高め、人生をより豊かにしていくため、障がい者スポーツに触れ合う機会の創出や、障がいのある人だけではなく市民の障がい者スポーツへの関心や理解が深まるよう啓発に努める。

障がい者スポーツを実施するに当たっては、障がいの種類や程度を理解した指導者や障がいの特性に応じた用具が必要であり、その他にも障がいにより情報の取得が困難な方や、車いす利用者などがスポーツ活動の場に行くまでのアクセスの確保、介助者の確保にかかる費用が必要であるなど、こうした条件の有無により、障がいのある人のスポーツへの参加が制限されることから、スポーツ関係者や福祉関係者と連携・協力を図る。

## **(3) ニュースポーツ、スポーツレクリエーション、野外活動の推進**

市民の健康、運動意識向上の啓発に努め、体力測定や市民ウォークなど誰もが身近で気軽に実施できる機会づくりを充実させる。

ニュースポーツ、スポーツレクリエーションについては、スポーツを楽しみ、スポーツに親しみを持てるよう、すべての市民を対象に推進する。

市民のスポーツニーズが多様化する中で、スポーツ推進委員やスポーツ協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブなどが培ってきたスポーツのノウハウやネットワークは、スポーツ推進の展開の上で非常に重要であり、これらの団体と協議の場を設けるなど相互の連携を図り、市民のニュースポーツやスポーツレクリエーション活動を充実させる。

## 第 3 章

### 実現に向けた取組

#### 1 生涯スポーツの推進

##### (1) 推進体制の整備充実

###### 【現状と課題】

- ・活力に満ちた豊かな生活を送るため、いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも気軽にスポーツに親しむことができる環境を整えるため、スポーツ関係各団体が情報を共有し、それぞれの活動目的や役割を明確にして、相互に協力し合えるよう団体間の意見交換や情報共有を図ることが必要であり、また、地域のスポーツ活動や市民主体の活動を推進する必要がある。
- ・市内の社会体育施設の管理・運営を一般財団法人東かがわ市スポーツ財団が指定管理者となり運営を行っているが、新温水プールが別の指定管理者となると自主事業での収益の減少が課題となる。また、同財団はスポーツ協会の事務局も担っている。
- ・市民がスポーツを通じて感動と興奮を覚え、スポーツを始めるきっかけづくりにつながるよう、プロスポーツ観戦（バスケット、サッカー、野球等）を関係機関、競技団体と連携し実施しているが、スポーツを始めるきっかけとはなっていない。また、多様化している環境下で経済的余裕がない家庭や仕事のため保護者の時間がとれない家庭など、子どもがスポーツをしたくてもできない状況もある。
- ・子どもの体力は年々低下しており、基礎的な体力、運動能力の向上や健全育成のため、家庭や地域、各種スポーツ団体などが連携して、スポーツに取り組む習慣を定着させることが必要である。また、普段スポーツを行わない子



どもたちにも目を向け、それぞれの興味や体力などに応じて、遊びの一環として楽しみながら継続的に行えるスポーツ環境の整備やプログラム作りを行っていく必要がある。

### 【基本施策】

- ①国の第3次スポーツ基本計画に基づき、「早期に、成人の週1回以上のスポーツ実施率が50パーセントとなること」を目指し、スポーツ推進委員、スポーツ協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブの各種団体間の情報を共有し、それぞれの活動目的や役割を明確にし、相互に協力できる団体間の意見交換や情報共有を図る機会を設ける。また、市民誰もが地域のスポーツに関する情報を容易に得られるよう、市広報紙やホームページ等も活用し、情報提供に努める。
- ②市内の社会体育施設の指定管理を行っている一般財団法人東かがわ市スポーツ財団については、今後の指定管理等施設の状況を鑑み、新たな自主事業等の運営や管理を検討していく。また、スポーツ協会以外の事務局を担っていくことで市民が利用しやすくなるよう、市内のスポーツに関する窓口の一本化についても検討する。
- ③スポーツを始めるきっかけづくりとしてプロスポーツ観戦の機会を増やすことや観戦後に選手と交流ができるよう働きかける。また、スポーツをしたくてもできない子どものスポーツ環境について、土曜日授業や放課後児童クラブ等の内容に、スポーツ活動を取り入れる。
- ④子どもの体力向上に努めるため「運動習慣づくり」を幼児期から始める必要がある、現在、実施している東かがわ市市民会議主催の「わくわくチャレンジ教室」での軽運動教室や、スポーツ推進委員・スポーツ協会で行っているカローリング、ボッチャ、玉入れなどのスポーツイベントを開催し、普

段スポーツを行わない子どもや未就学児を対象に、バリエーションに富んだ機会を提供する。

## (2) 指導者の育成支援の充実

---

### 【現状と課題】

- ・スポーツ推進委員は資質、意識向上のため、県が実施する各種研修会への参加や、年1回講師を招いてニュースポーツや障がい者スポーツなどの研修を実施している。また、現在の活動は、市内小学校の土曜日授業でニュースポーツの指導が中心となっているが、今後は、未就学児や高齢者及び障がいのある人に指導する体制づくりのため、幅広い知識を習得することが必要となっている。
- ・スポーツ少年団の指導者に対し、プロの指導者を招きコーチングアカデミー（指導者講習会）を義務講習として実施している。また、県が実施している研修会、講習会の情報提供も行っているが、中には勝利至上主義の考え方が残っており、さらなる指導者講習等が必要となっている。
- ・スポーツ財団職員は、指導スキルの向上のための研修会や講習会に意欲的に参加している。また、社会体育施設の管理運営だけでなく市民のスポーツの推進を図るための指導者としての資質も求められている。

### 【基本施策】

- ①市民の多様化するスポーツニーズに応えるためにも、関係団体・機関と連携を図りながら、公認指導員等の資格取得や継続更新を支援し、研修会や講習会への参加を推進するなど、指導者の育成と継続活動の支援に努める。また、地域運動部活動等を計画的に実施するため地域のスポーツ指導者の育成、確保及び資質の向上や市独自のスポーツ資格の導入について検討する。
- ②スポーツ少年団の指導者には、幅広く参加ができ、運動に興味を持てる(楽し

さを知ることができる)ような指導のあり方を、各種研修会等において啓発し、あらゆる体罰の根絶及び適正かつ効果的な指導に向けた研修や、相談窓口の体制を整える。また、各スポーツ関係団体・機関との連携を図りながら、次世代を担う若い指導者の発掘や育成に努める。

- ③スポーツ推進委員やスポーツ財団職員が専門的なスポーツ指導・支援に対応できるよう、関係者の資質向上のための研修機会を充実する。

### (3) 実践活動の促進

---

#### 【現状と課題】

- ・スポーツ協会では地区スポーツ協会が45事業、競技団体が80事業、また、スポーツ協会本部事業としてボッチャなども実施しているが、参加する方が固定されてきていることや事業開催の周知について検討が必要となっている。
- ・スポーツ推進委員はニュースポーツの指導や市民ウォーク、体力測定会、出前教室（体力測定）などを実施しているが、実施場所の関係から参加したいが交通手段がないなどの課題がある。
- ・総合型地域スポーツクラブは市内に3クラブあり、子どもから高齢者までそれぞれのクラブで多種多様なスポーツを実施しているが、人口減少やクラブ内の指導者数などから、統合または3クラブをまとめる等、新しいクラブの設立の検討が課題となっている。
- ・少子化に伴いスポーツ少年団の団員数は減少傾向にあり、今後は特に団体競技においてその活動と維持が課題となっている。
- ・身近にプロスポーツを観戦する機会が少ないため、プロスポーツが市内で観戦できる環境づくりが必要である。

#### 【基本施策】

- ①スポーツ協会組織の地区スポーツ協会では、事業開催時に地区内での周知を再度徹底し、参加者の増加につなげてスポーツ人口の増加に努める。競技団体においては、事業の見直しなどを行い傘下団体の増加を図る。スポーツ協会本部の事業については、事業内容、開催日時や回数、また広く市民に周知し運動習慣の定着のきっかけづくりを行う。
- ②スポーツ推進委員は、体力測定会を年1回実施する。交通手段のない方につ

いては、要望があれば自治会館やコミュニティセンターで出前講座（体力測定）を開催し、市民の健康づくり意識の向上を推進する。また、フレイル予防に特化した測定会の実施についても検討する。

③総合型地域スポーツクラブでは、どのような競技種目ができるのか、参加者数や費用などの活動内容、参加方法など、クラブの認知度向上に向けて、市民への情報発信を行う。また、市民が参加しやすいよう、現在の3クラブの統合等に向け関係団体と協議を進める。

④将来のスポーツ人口の確保のため、幼児期の運動の大切さ、楽しさを啓発し、幼児スポーツの指導者の育成支援や運動環境の整備に努める。

⑤香川県地域密着型スポーツ活用協議会の事業である香川オリーブガイナース、カマタマーレ讃岐及び香川ファイブアローズ等の地域密着型スポーツチームを活用し、開催可能なプロスポーツの大会を市内で開催する。併せてスポーツ教室や各種イベントを開催する。

※フレイル：加齢により体力や気力、社会的なつながりが弱くなった状態。

## (4) スポーツ団体・選手の育成

---

### 【現状と課題】

- ・スポーツ少年団活動の充実のため、運動会や指導者講習会などを開催するとともに、団員確保のため競技種目ごとの体験会や、各学校に依頼して団員募集のチラシ配布を行っているが、人口減少により現在は、10種目23団体と毎年減少しており、同じ競技団体の合併が進んでいる。なお、青少年健全育成の観点から、団員の活動時間については、香川県指導者綱領（概ね週6時間）に沿った活動を指導している。
- ・毎年「スポーツフォーラム in 東かがわ」を開催し、スポーツに関する様々なテーマでアスリートやスポーツ医療関係者等による講演や実技指導を実施している。
- ・スポーツ協会については、スポーツ財団が事務局となり運営をしているが、人口減少や少子高齢化に伴うスポーツ団体の存続、また、地域運動部活動の運営に対する指導者の確保等、連携強化を図るため、スポーツ少年団等のスポーツ団体を一つの組織とすることが今後の課題となっている。
- ・地域において、誰もが気軽にスポーツを楽しめる「総合型地域スポーツクラブ」と、スポーツ推進委員及びスポーツ協会等各種スポーツ団体が、指導者の派遣や事業の運営面で連携・協力し、スポーツクラブの育成及び支援体制を整備する必要がある。また、休日、そして将来的には平日の地域運動部活動を見据えたスポーツクラブの在り方について検討が必要となってきた。
- ・スポーツ推進委員については、市民に対し、ニュースポーツ等の実技指導、助言をより高度化するために、国・県の開催する指導研修会等への積極的な参加が必要である。

## 【基本施策】

- ①スポーツ少年団に登録している指導者及び育成者については、「スタートコーチ（スポーツ少年団）」資格（J S P O公認スポーツ指導者制度）を取得するよう推進する。また、スポーツ少年団の団体数の減少については、地域運動部活動と併せて検討する。
  
- ②各スポーツ団体の育成のため、各団体のそれぞれの活動目的や役割を明確にし、相互に協力し合えるよう団体間の意見交換や情報共有を図る機会を設ける（連絡協議会の開催）。
  
- ③総合型地域スポーツクラブの連絡調整会を設置し、存続、統合を含めた今後のクラブの在り方、また、地域運動部活動への関わり方等、併せて検討する。
  
- ④全国大会や国際大会に出場する団体や選手の活躍を市民に広く周知するとともに、旅費の補助や賞賜金の交付により活動を称揚して、団体や選手への激励や競技意欲の向上を図る。

## (5) 施設の整備充実

---

### 【現状と課題】

- ・本市の社会体育施設は、屋内施設として体育館4施設、武道館1施設、温水プール1施設が整備されているとともに、屋外施設として野球場1施設、テニス場4施設、運動広場1施設、パークゴルフ場1施設、多目的広場2施設、ゲートボール場2施設等の各種競技に対応できる施設が整備されている。人口減少に伴う利用者の減少を踏まえ、維持する施設と統廃合する施設について検討する必要がある。また、生涯スポーツや競技スポーツなど、市民の多様なスポーツ活動を支援する拠点施設（専用施設）の整備が求められている。
- ・小学校の体育館、運動場や中学校の体育館について、市民が身近でスポーツに親しめるよう、積極的な開放に努めているが、駐車台数が少なく整備の要望がある。また、利用者の固定化が見受けられるため、利用案内などの広報の充実を図り、施設の定期的な情報発信など新規の利用者の拡大を目指す必要がある。
- ・市民各層が気軽にスポーツに親しむことができるよう、障がいのある人や高齢者にも優しい施設整備が求められている。その他、温水シャワーや更衣室等を備えたクラブハウス、空調設備等の整備など、施設の充実が求められている。
- ・現在のスポーツ施設は、市街地から離れており、交通手段を持たない高齢者や子どもに対しての対応を考える必要がある。

### ※社会体育施設

体育館：引田飛翔体育館、白鳥中央公園体育館、とらまる公園体育館、  
本町体育館

武道館：引田武道館

温水プール：引田温水プール

野球場：引田野球場

テニス場：引田運動公園テニス場、引田テニス場、白鳥中央公園テニス場、



## とらまる公園テニス場

運動広場：引田運動広場

パークゴルフ場：引田パークゴルフ場

多目的広場：白鳥中央公園多目的広場、とらまる公園多目的広場

ゲートボール場：引田ゲートボール広場、とらまる公園ゲートボール場

グラウンド：本町グラウンド

### 【基本施策】

- ①市民が日常的にスポーツ活動を行う場として、老朽化が進んでいる体育施設について、「東かがわ市社会体育施設等マネジメント基本計画」に基づき計画的な整備に努める。
- ②駐車台数の限られている施設については、団体間の入れ替えがスムーズになるよう調整を行い、駐車スペースが確保できる施設については、整備等を検討する。また、幅広い方に施設を利用してもらうため、施設の予約の仕方やキャンセル、減額免除についても再考する。
- ③市民がスポーツに親しみやすく、参加しやすくなるよう既存の情報ツールを充実させるとともに、施設、イベントなど様々な情報の収集・発信を行い、市民が意欲的にスポーツに取り組める環境の整備に努める。
- ④社会体育施設について定期的に設備や機器のメンテナンスを実施し、利用者の満足度の向上に努める。また、既存スポーツ施設のバリアフリー化を推進し、高齢者や障がいのある人も安心して使用できるスポーツ環境整備を推進する。  
スポーツ施設までの交通手段の確保については、新たな公共交通の整備等は、現実的に難しいため、放課後児童クラブや出前講座などで対応する。

## 2 障がい者スポーツの推進

### 【現状と課題】

- ・障がいのある人を対象としたスポーツ行事が少なく、年に1度、身体障がい者協会主催の「東かがわ市障がい者スポーツ大会」が開催されているが、今後より多くの障がいのある人を対象としたスポーツ行事を開催し、障がいのある方々のスポーツ機会の充実、障がい者スポーツの認知を進める必要がある。
- ・かがわ総合リハビリテーション主催のスポーツ教室を年7回程度実施しており、スポーツ推進委員が指導補助を行っているが、障がい者スポーツの環境（場所、指導者）は未だ整っておらず、障がいのある方の日常の過ごし方として、レクリエーションやスポーツを楽しむ機会が少ない状況である。
- ・学生の間（学校に通っている間）は、体育の授業、部活動等で体を動かす機会もあるが、卒業後となると活動できる場が少なく、障がい者団体の中の活動に留まっている。年齢や性別、障がいの種類や度合いを問わず、広く市民が、関心、適応性に応じて主体的にスポーツに参画することができる環境を整備する必要がある。

### 【基本施策】

- ①スポーツイベントなどについて、障がいのある人も参加しやすくなるよう、同じルールのもとで楽しめるニュースポーツや障がいのある人の競技種目も取り入れたイベントの機会の充実を図り、スポーツを通じて地域の交流を進め、障がい者スポーツに対する理解や関心が深まるよう推進する。
- ②市内スポーツ施設やスポーツ指導者について、障がいのある人のニーズを把握し、必要な運営、指導などの留意点に関するマニュアル作りに努める。また、障がいのある人が身近にスポーツに親しむことができるよう、不便なく

利用できるスポーツ施設の在り方についての検討を進める。

- ③スポーツ団体や障がい者福祉団体等による連携・協働体制を整備し、障がいのある人の幼少期から高齢期を通じてニーズや意欲に合ったスポーツ機会を推進する。
- ④専門知識を持った講師を招いて研修を行うなど、様々な対応の接し方を学び障がいのある人を理解していく機会を設ける。

### 3 ニュースポーツ、スポーツレクリエーション、野外活動の推進

#### 【現状・課題】

- ・ニュースポーツについては、スポーツ推進委員が各小学校の土曜日授業のほか、地区スポーツ協会、長寿会、子ども会などでカラーリングなどの指導を行いながら普及活動を行っているが、継続的な実施の体制が無く、定着していない。
- ・いつでも気軽にスポーツレクリエーション活動に取り組むことができるよう、スポーツに親しむ機会の提供や、健康・体力づくりの促進、団体の育成や指導者の確保等の支援体制を整える必要がある。
- ・スポーツは、競技種目のイメージが強いが、木登りや釣り、水遊び、キャンプ等も体を動かすきっかけづくりになるので、野外活動についても推進していく必要がある。

#### 【基本施策】

- ①ニュースポーツの普及については、スポーツ推進委員の活動のほか、専門の指導者を育成する機会などを提供し、子どもから高齢者、また障がいの種類や度合いにかかわらず、みんなと一緒に楽しむことができるイベント等の開催を推進する。
- ②ニュースポーツ、スポーツレクリエーションの普及、定着のため、スポーツ財団、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ等と連携を図り、研修会への参加、普及機会の定着、出前講座の開催を行う。また、介護予防の現場などで、高齢者の自立への動機付けを高めるスポーツレクリエーション活動を活用することもあることから、市社会福祉協議会とも連携を図る。
- ③市内小中学校の宿泊体験を市内のキャンプ場等で実施を推奨することや、実

施時に簡単な身体運動等、要請があれば指導者を派遣できる体制づくりを行う。

## 【東かがわ市のスポーツに関するアンケート調査結果】

### 1 趣 旨

第4次東かがわ市スポーツ推進計画を策定するにあたり、市民のスポーツに関して意見等を把握し、計画策定の参考とする。

### 2 調査方法

#### (1) 調査時期

令和4年10月1日 ～ 10月31日

#### (2) 調査結果

一 般 138人

小学生 995人

中学生 452人

合 計 1,585人

#### (3) 調査方法

小・中学生は学校へ依頼

一般は、体育施設等でアンケート用紙を配布

### 3 前スポーツ推進計画との比較

#### ■一般

・全ての問いについて、前回とほぼ同じような調査結果となった。

・大きく変わった回答

スポーツの実施状況（頻度）についてどう思うか。

十分である 39.4% → 68.0%

健康面での効果があるか。

ある 37.7% → 51.0%

スポーツをしていない人について、今後条件を整えばスポーツをしたいか。

してみたい 59.4% → 86.0%

したくない 5.5% → 0.0%

市の公共スポーツ施設を利用したことがあるか。

ある 76.4% → 95%

市の公共スポーツ施設について、どう思うか。

十分である 37.6% → 52%

## ■小学生

- ・一般と同じく全ての問いについて前回と同じような調査結果となった。
- ・前回と同様に、実施した種目については、水泳が最も多く、目的は、上手になりたいや体力向上が上位に上がっている。  
スポーツの実施場所については、公共スポーツ施設が一番多く、次いで学校施設となっている。  
スポーツをしていない人の理由については、嫌い・興味がないに次いでやりたいスポーツがない、塾や習い事が忙しいとなる。  
スポーツをするためにはどうすればいいかの問いには、友達とするが前回と同様に多い回答となった。  
あると嬉しい施設は何かの問いには、前回と同様にアスレチック、プール、ボルダリングとなった。

## ■中学生

- ・一般、小学生と同じく全ての問いについて前回と同じような調査結果となった。
- ・体育の授業以外で何かスポーツをしているかの問いでは、前回 76.1%に対して 66.0%と減少傾向にある。  
実施した種目については、卓球が一番多い。卓球は前回も二番目に多い種目であった。目的については、小学生と同様に、上手になりたいや体力向上が上位を占める。  
スポーツの実施場所については、部活動の関係から学校施設が一番多く、次いで公共スポーツ施設となった。  
スポーツをしていない人の理由については、きっかけがない、やりたいスポーツがない、嫌い・興味がないと前回と同様の結果となった。  
スポーツをするためにはどうすればいいかの問いには、時間を工夫する、友達とするが前回と同様に多い回答となった。  
あると嬉しい施設は何かの問いには、アスレチック、バスケットコート、ボルダリングとなった。

## ■スポーツについての自由意見

### ◇一般 21件中、一部抜粋

- ・安く施設を利用できているので、維持して欲しい。
- ・施設にトレーナーをつけて欲しい。
- ・テニスコートに日陰が欲しい。
- ・施設をなくす場合は、市民にアンケートをとって欲しい。

- ・要望に対してあまり応じてくれない。
- ・白鳥中央公園のトレーニング施設は残してください。
- ・退出時のマナーの悪い利用者が目立つ。

◇小学生 239件中、一部抜粋

- ・空中アスレチックが欲しい。
- ・運動は楽しい、仲間を増やしたい。
- ・ウォータースライダーが欲しい。
- ・プロ選手がくる施設が欲しい。
- ・子どもが簡単に施設を利用できるようにして欲しい。
- ・無料の施設を増やして欲しい。
- ・アレルギー等であまり動けない人も行ける施設があればいい。
- ・屋外のバスケットコートが欲しい。
- ・学校で、もっといろんなスポーツがしたい。
- ・運動はやった方がいいが、やる気はしない。
- ・ピアノをやっているので、手を使わないスポーツがしたい。

◇中学生 106件中、一部抜粋

- ・施設の利用料金を下げて欲しい。
- ・どのスポーツも楽しくないと意味がない。
- ・外出する機会が少ないので、気軽に行ける施設が欲しい。
- ・部活で施設に通うのが大変になった。
- ・スポーツをすること、体力をつけることは大切。
- ・幅跳び用の砂場が欲しい。
- ・人口芝のサッカー場が欲しい。
- ・スポーツは体育だけで十分。
- ・スポーツはしないが、見ることは好き。
- ・興味を持てば、みんなスポーツをする。
- ・スポーツ人口が減少し、スポーツ（種目）が少なくなっている。

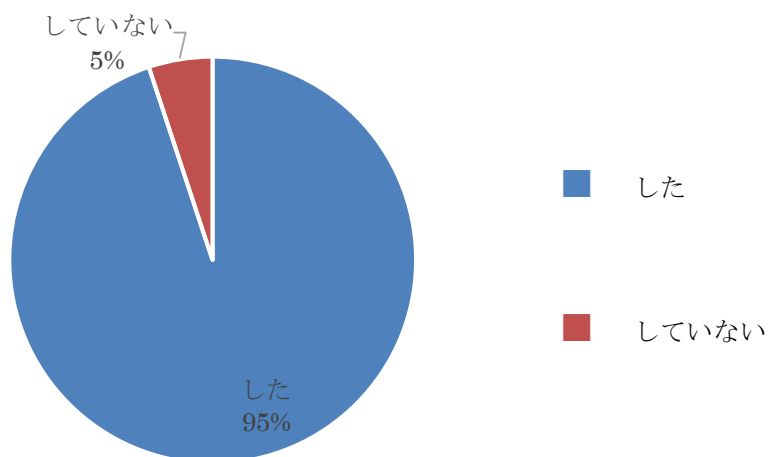


## スポーツに関するアンケート結果（一般）

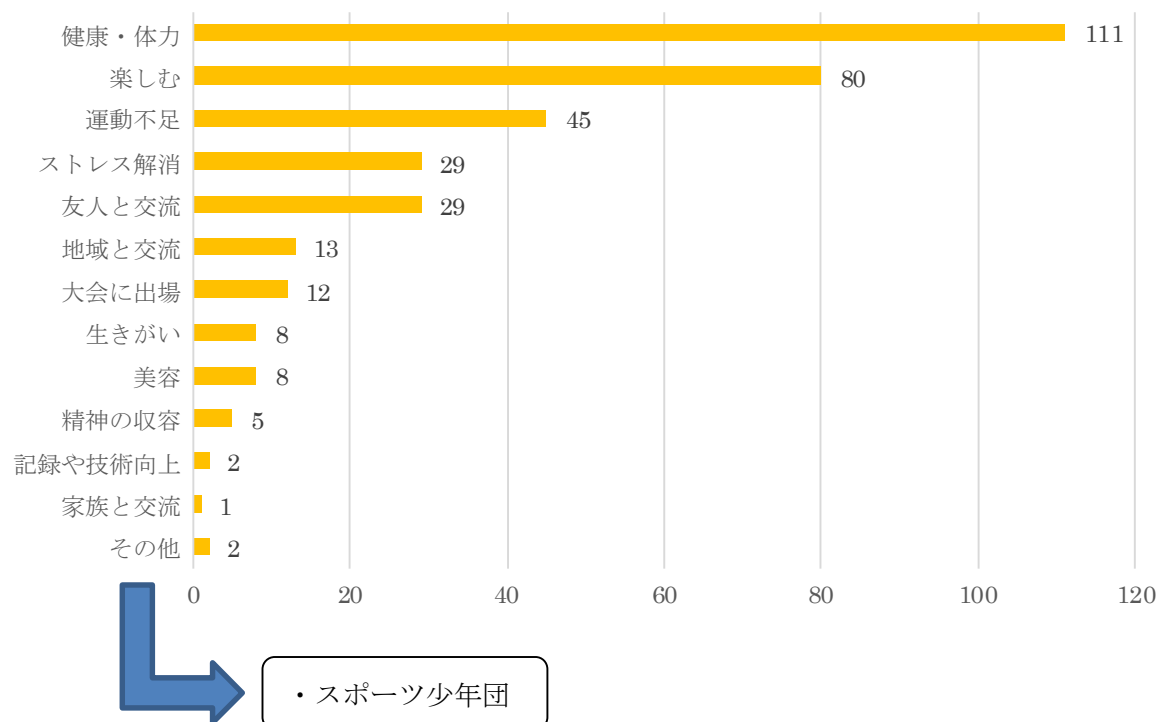
○アンケート回答者数：138人

### ○スポーツや運動の実施状況について

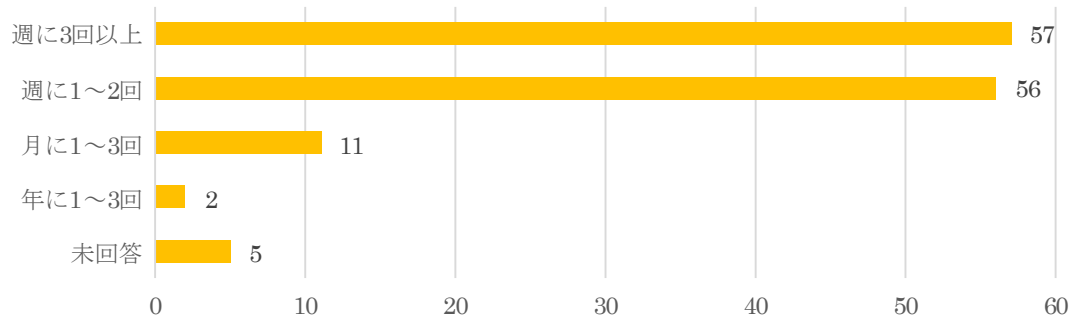
問 あなたはこの1年間で運動やスポーツをしましたか？



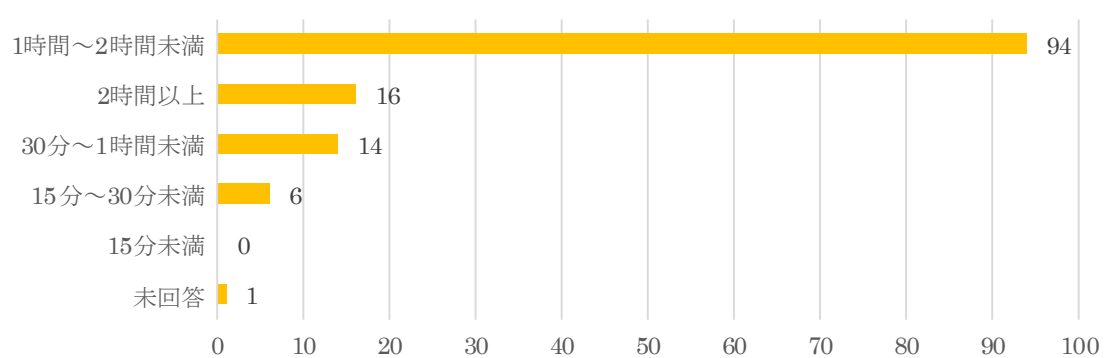
問 あなたが運動やスポーツをする理由は何ですか？（3つまで）



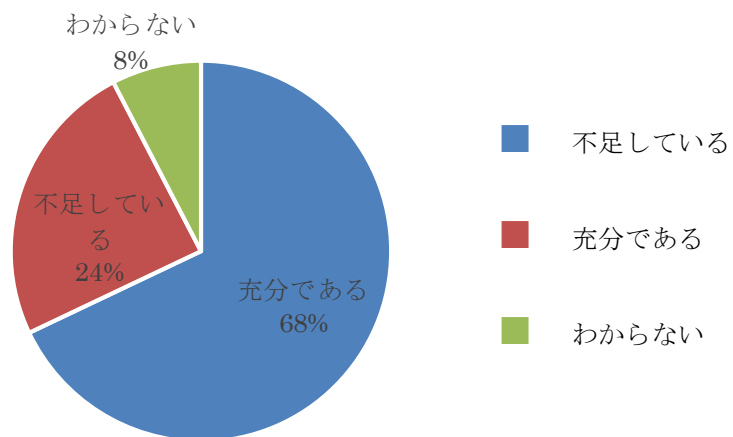
問 あなたは、どの程度スポーツや運動をしていますか？



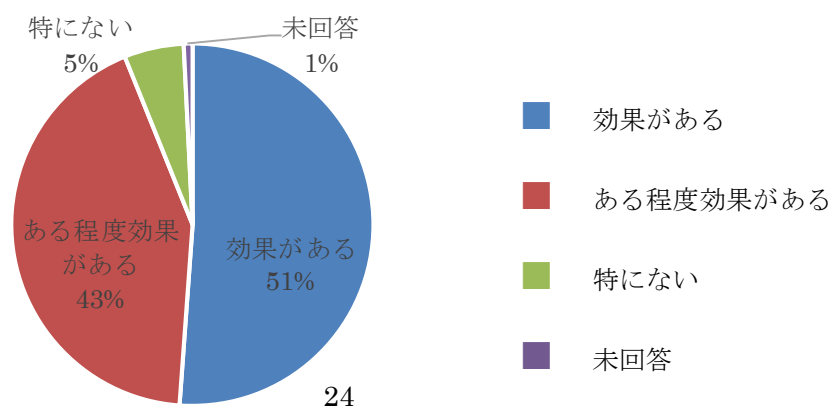
問 あなたがスポーツや運動を行う時間は1回にどの程度ですか？



問 あなたのスポーツや運動の実施状況（頻度）についてどうお考えですか？

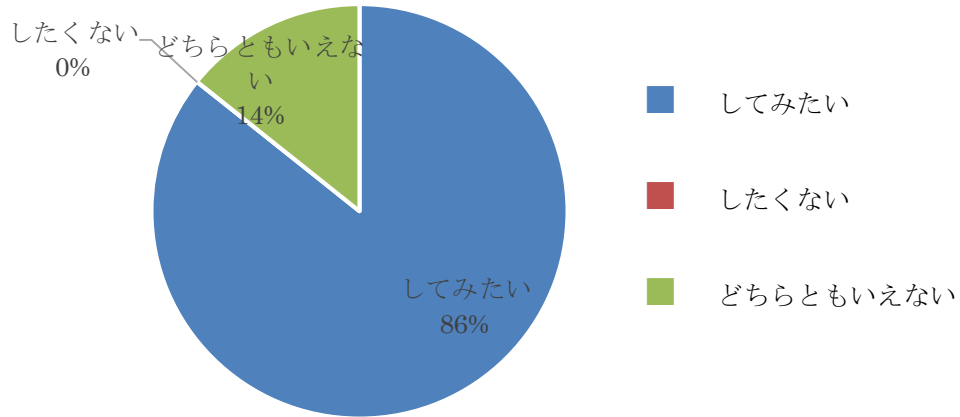


問 健康面での効果はありますか？



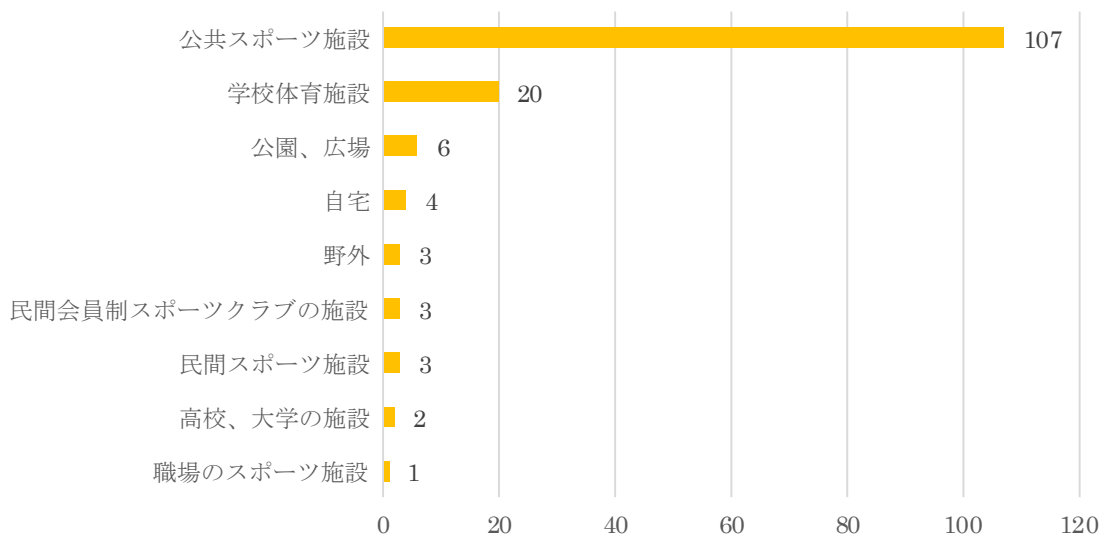
## ○スポーツや運動をしていない人について

問 今後条件が整えばスポーツや運動をしたいですか？

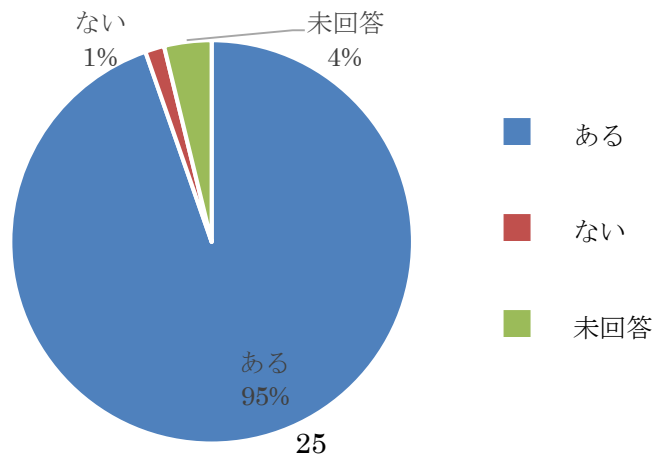


## ○スポーツや運動の施設について

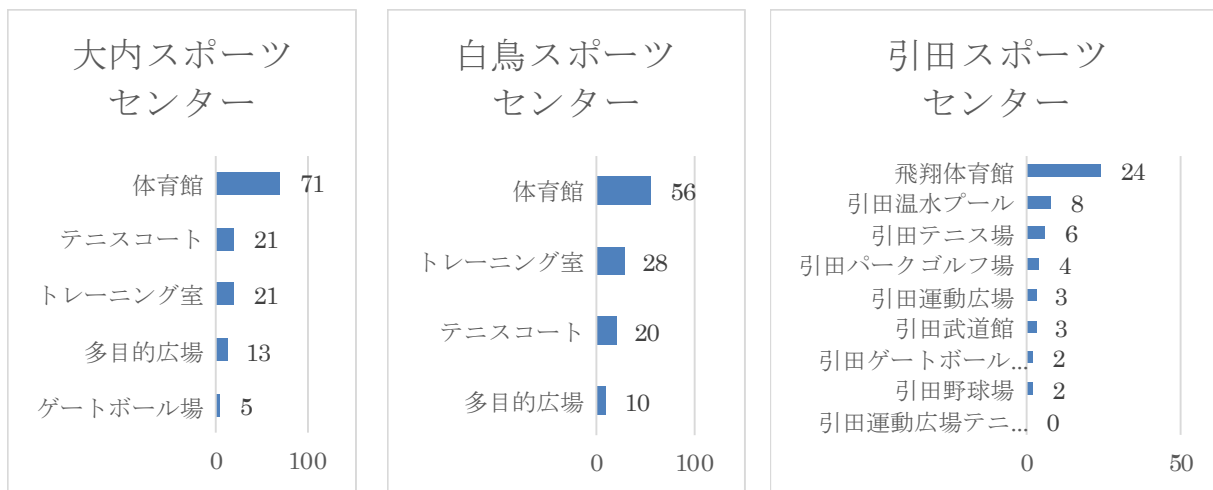
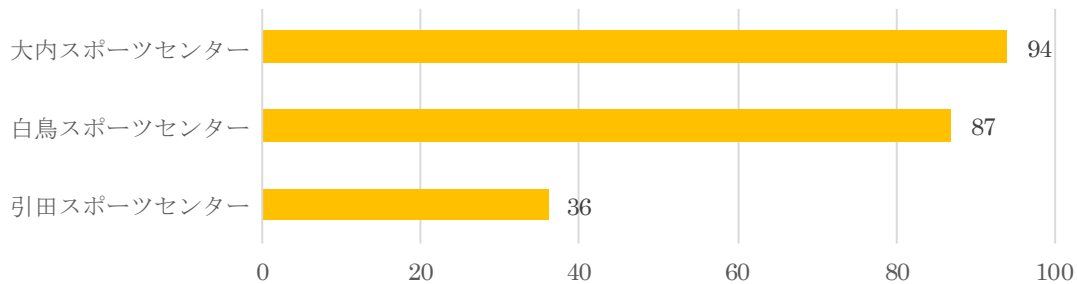
問 あなたがよく利用するスポーツ施設はどれですか？（複数）



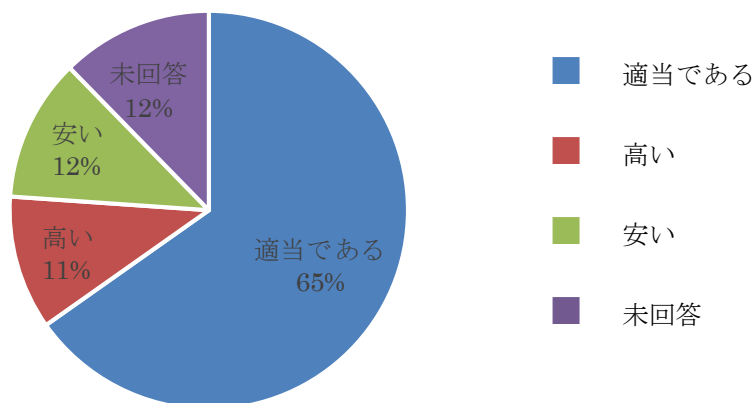
問 あなたは東かがわ市の公共スポーツ施設を利用したことがありますか？



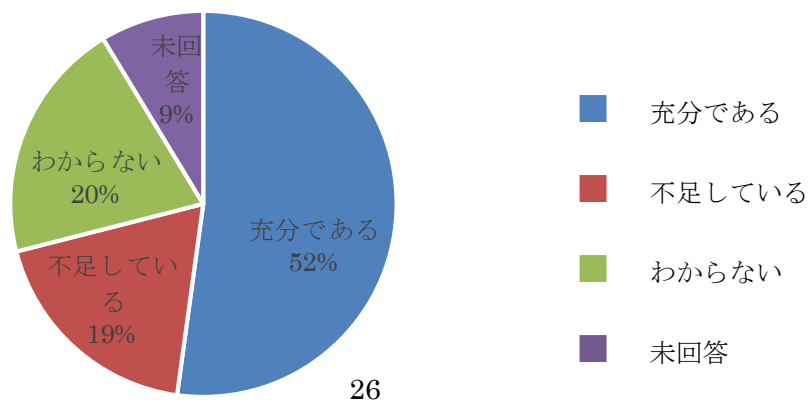
問 どの施設を利用しましたか？



問 利用した施設の使用料についてどう思われますか？



問 東かがわ市の公共スポーツ施設について、どう思われますか？

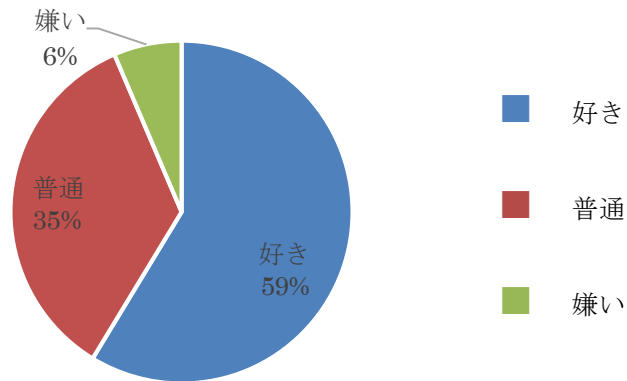


## スポーツに関するアンケート結果（小学生）

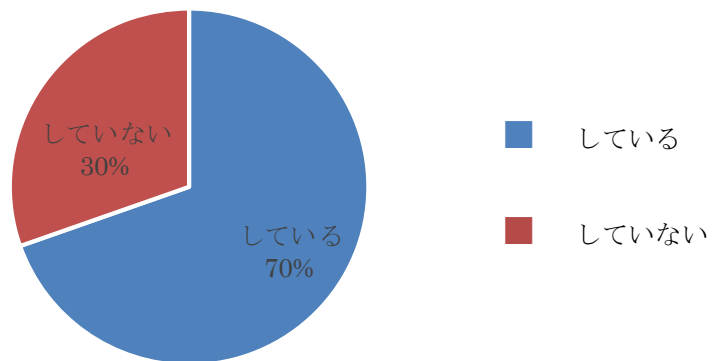
○アンケート回答者数：995人

### ○スポーツや運動の関心について

問 あなたは運動やスポーツは好きですか？

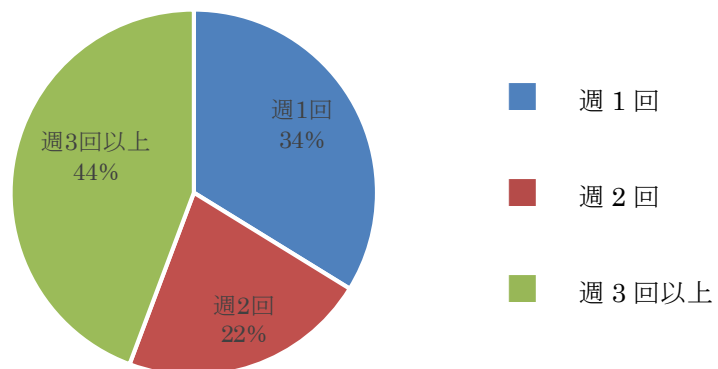


問 あなたは体育の授業以外で何か運動やスポーツをしていますか？

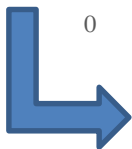
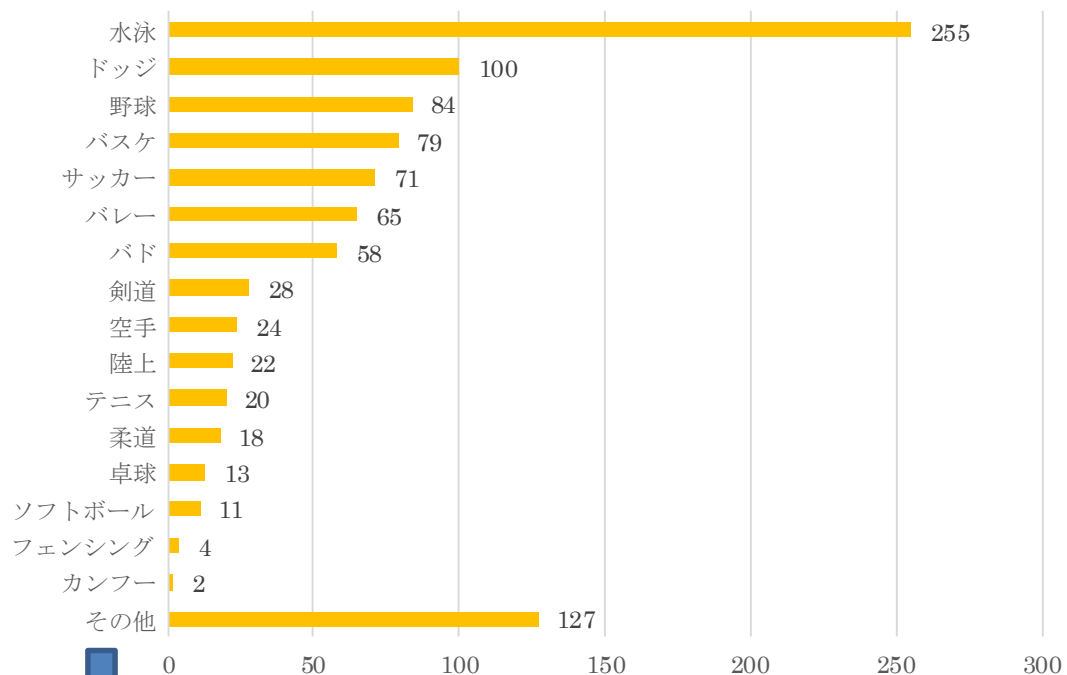


### ○運動やスポーツの実施について

問 あなたは、運動やスポーツをどれくらいしましたか？

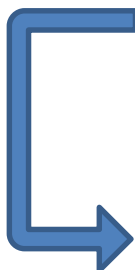
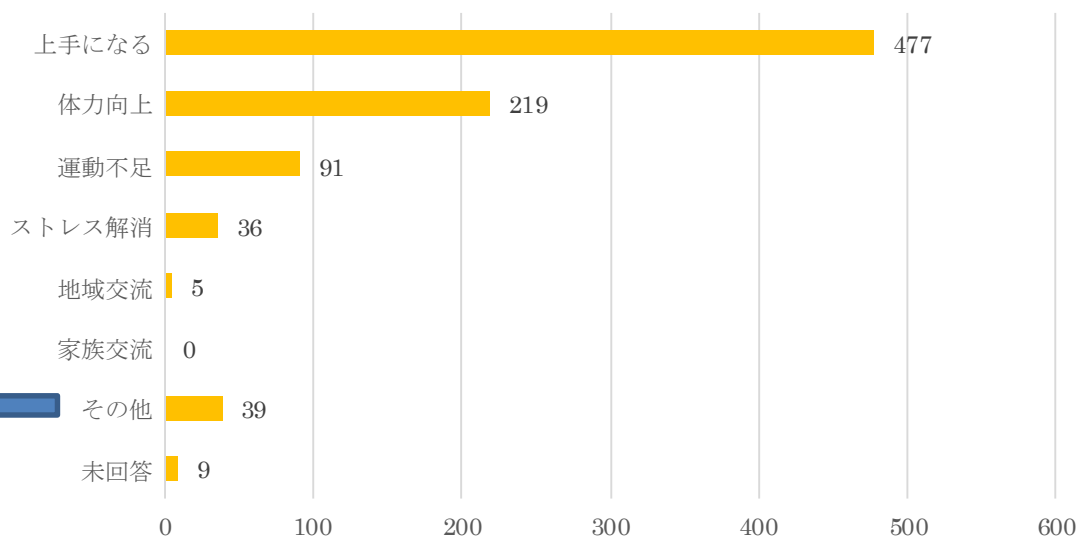


問 あなたは、どの種目をしましたか？（3つまで）



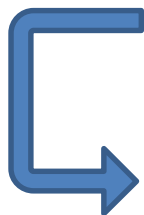
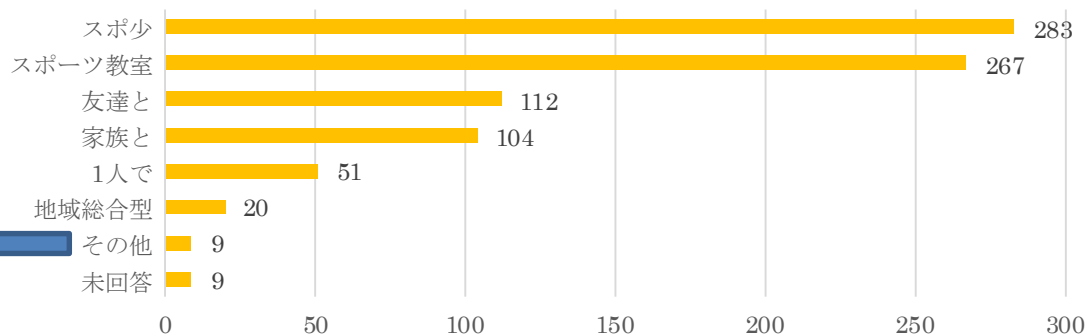
- ・ダンス ・バレエ ・なわとび ・自転車 ・ボクシング
- ・ハンドボール ・相撲 ・鬼ごっこ ・卓球 ・スケート
- ・乗馬 ・体操 ・アスリート ・アスレチック ・スケボー

問 あなたは、何のためにスポーツや運動をしていますか？（複数）



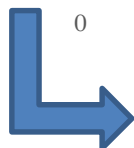
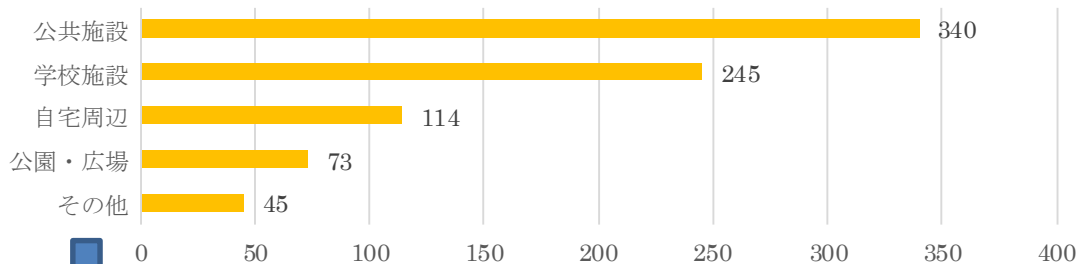
- ・おもしろそう ・誰かを守るため ・楽しい ・身を守る
- ・好き ・やりたい ・強くなる ・ダイエット
- ・お母さんに無理やり ・溺れないため ・わからない

問 あなたはどうやってスポーツや運動をしていますか？（複数）



- ・ 親戚
- ・ 先生
- ・ 大人

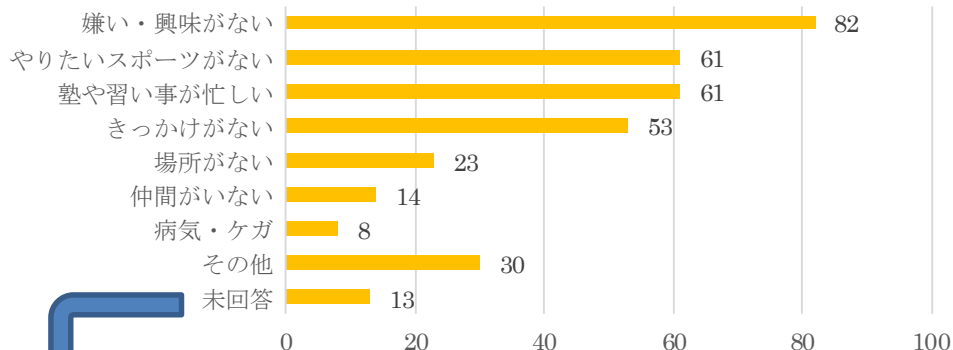
問 あなたは、どこでスポーツや運動をしていますか？（複数）



- ・ スタジオ
- ・ テニスクラブ
- ・ アイスリンク
- ・ 山
- ・ クリエイティブスタジアム
- ・ 体操教室
- ・ 児童館
- ・ 森の近く
- ・ バッティングセンター
- ・ 市外の施設

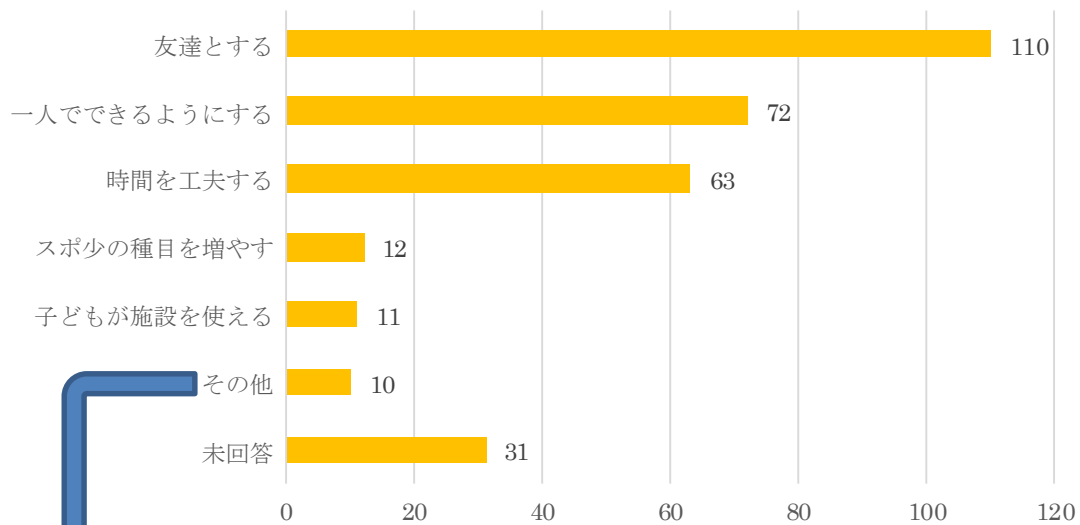
○スポーツや運動をしていない人について

問 運動やスポーツをしていない理由を教えてください。



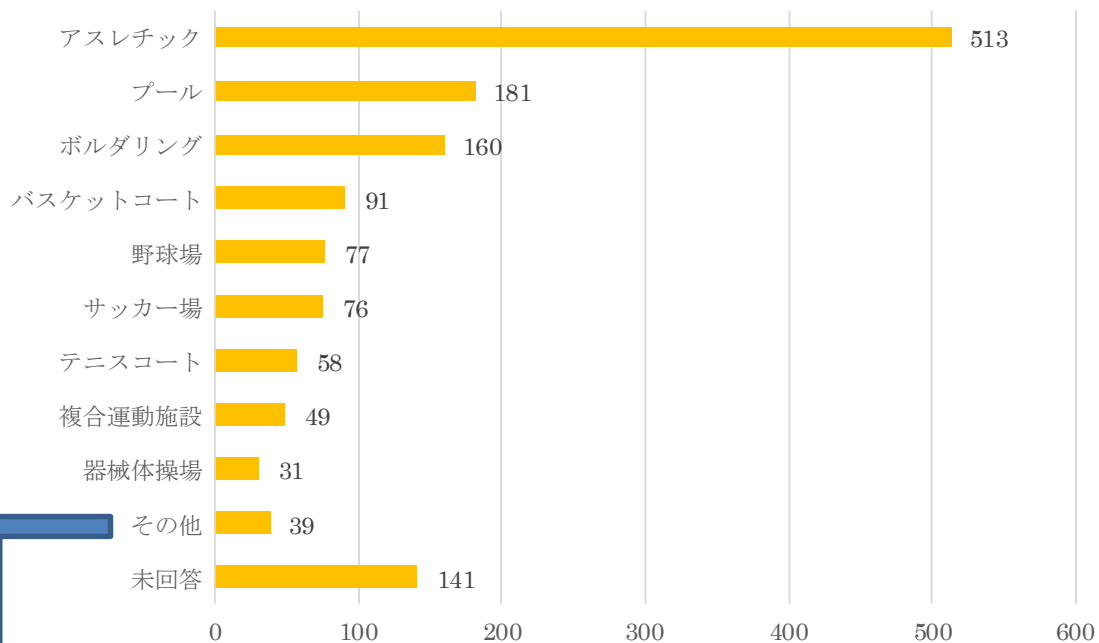
- ・ 運動音痴
- ・ 宿題が多い
- ・ 遠い
- ・ 親が忙しい
- ・ お金がない
- ・ 送迎がない
- ・ やりたくない
- ・ コロナでできない
- ・ 遊ぶ時間が減る
- ・ 留守番

問 あなたがスポーツや運動をするためにはどうすればいいと思いますか？（複数）



- ・もうどうにもならない
- ・運動はしたくない
- ・習い事に通う
- ・好きになる
- ・宿題を早く終わらせる

問 あると嬉しい施設はなんですか？



- ・バレーボールコート
- ・バレエの施設
- ・トランポリン場
- ・運動しながらゲームができる場所
- ・柔道場
- ・ドーム
- ・ダンススタジオ
- ・スケボーパーク
- ・バッティングセンター
- ・ボーリング場
- ・スケート場
- ・卓球場
- ・体育館

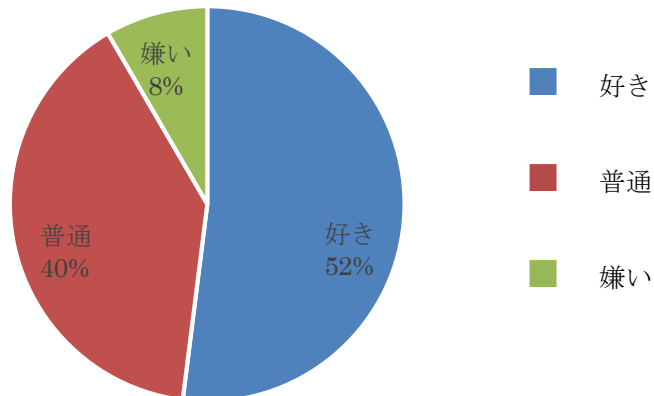


## スポーツに関するアンケート結果（中学生）

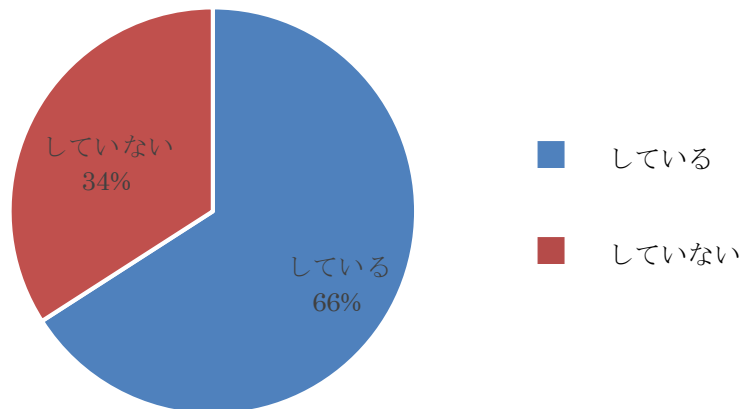
○アンケート回答者数：452人

### ○スポーツや運動の関心について

問 あなたは運動やスポーツは好きですか？

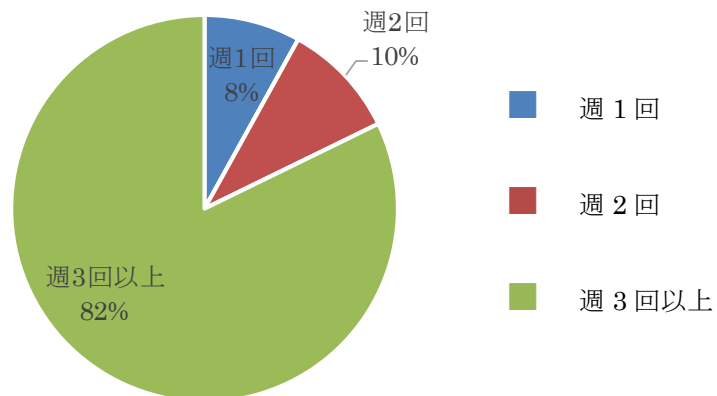


問 あなたは体育の授業以外で何か運動やスポーツをしていますか？

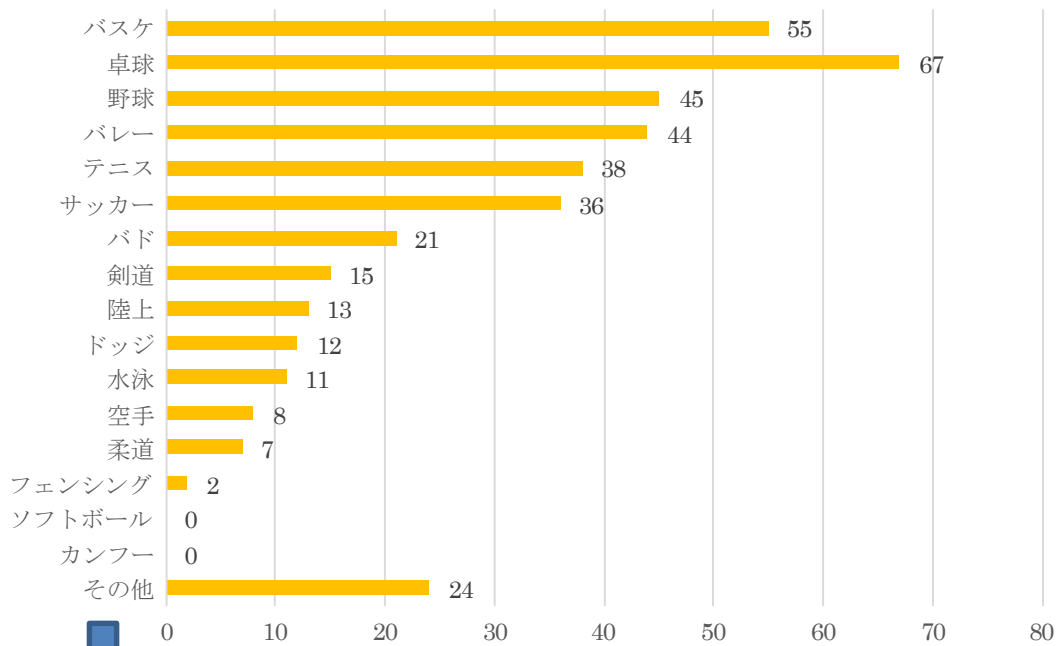


### ○運動やスポーツの実施について

問 あなたは、運動やスポーツをどれくらいしましたか？

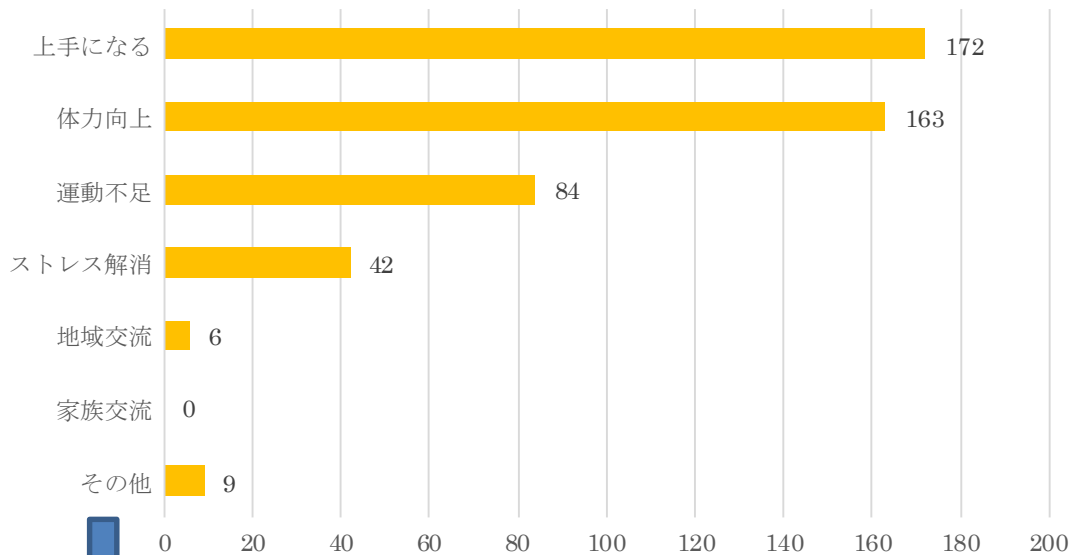


問 あなたは、どの種目をしましたか？（3つまで）



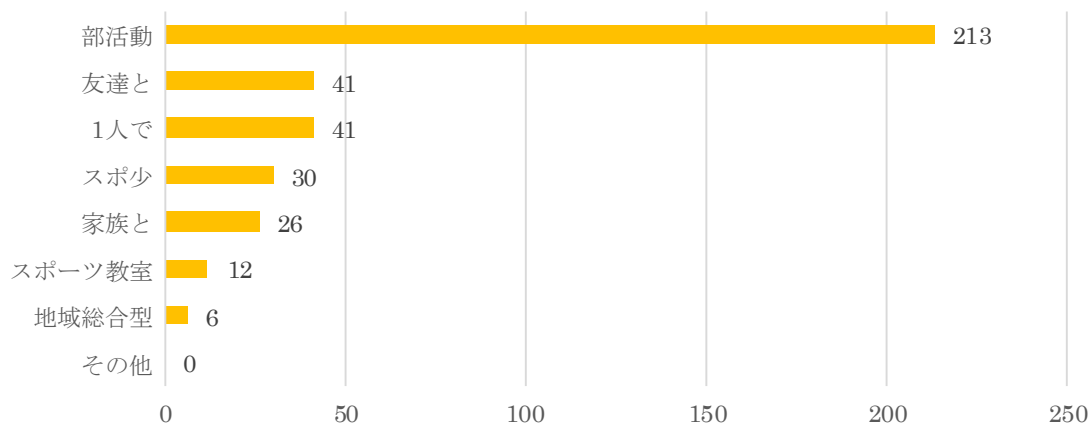
- ・ダンス ・自転車 ・ボクシング ・体操 ・筋トレ
- ・エアロビクス ・ランニング ・スーパーさぬきっ子

問 あなたは、何のために運動やスポーツをしていますか？（複数）

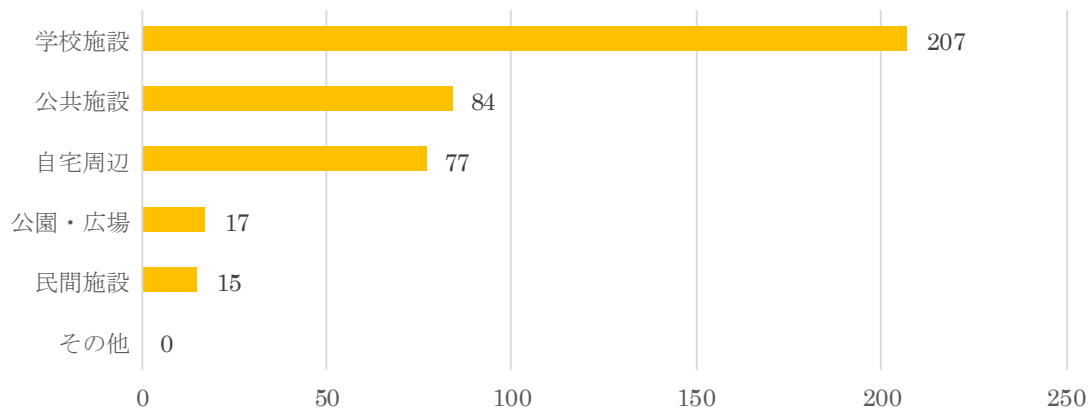


- ・将来のため ・プロになるため ・部活に入っている
- ・犬の散歩 ・メンタルを強くする ・楽しいから ・わからない

問 あなたはどうやって運動やスポーツをしていますか？（複数）

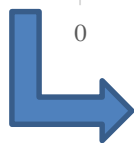
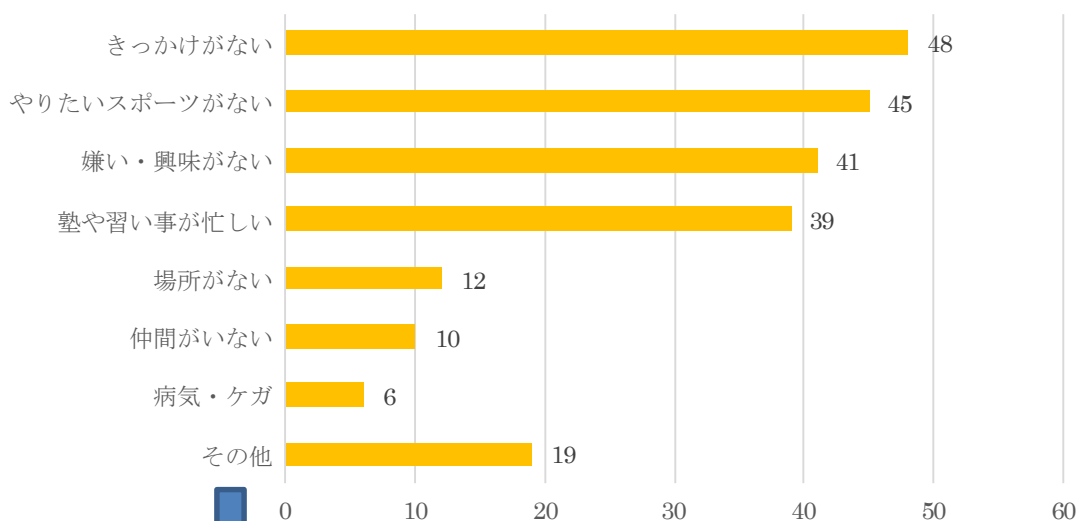


問 あなたは、どこで運動やスポーツをしていますか？（複数）



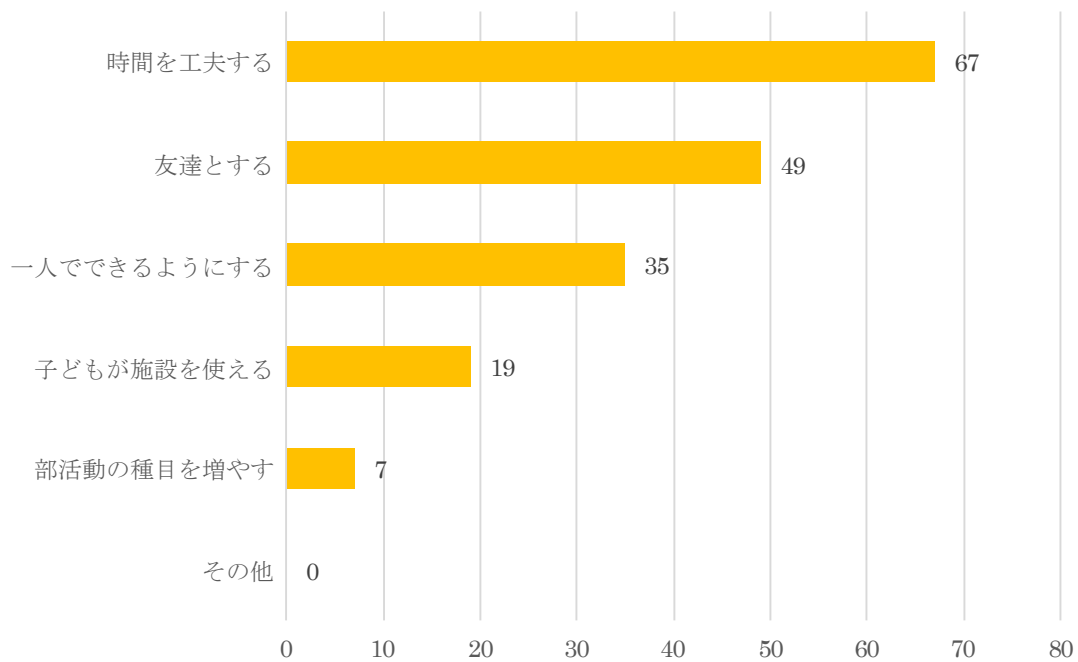
○スポーツや運動をしていない人について

問 運動やスポーツをしていない理由を教えてください。

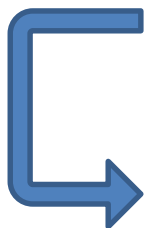
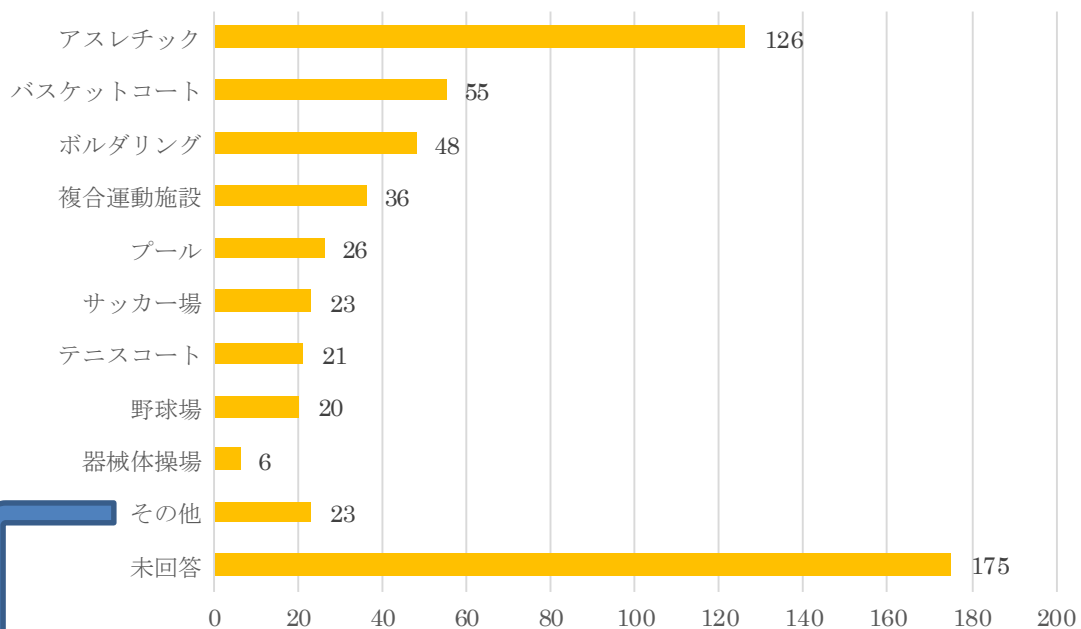


・部活引退 ・やる気がない ・諸事情  
・文化部に興味があった

問 あなたが運動やスポーツをするためにはどうすればいいと思いますか？（複数）



問 あると嬉しい施設はなんですか？



- ・体育館 ・鏡のある体育館（ダンス） ・ダンススタジオ
- ・ボーリング場 ・太鼓 ・空手の施設 ・陸上施設 ・新体操マット
- ・卓球場 ・弓道場 ・武道場 ・サイクリングロード

令和5年2月24日策定

## 東かがわ市教育委員会

東かがわ市教育委員会事務局生涯学習課

〒769-2792 東かがわ市湊 1847 番地 1

T E L 0879-26-1238

F A X 0879-26-1340

E-mail : [hk-syougaiakusyu@city.higashikagawa.lg.jp](mailto:hk-syougaiakusyu@city.higashikagawa.lg.jp)